

鹿児島大学「生涯学習憲章」策定ワークショップの案内

後援 南日本新聞社

鹿児島大学では、日本の大学で初めての試みである「大学生涯学習憲章」の策定に取り組んでおり、そのためのワークショップを6月1日（土）に開催します。ワークショップには、文科省・合田隆史生涯学習政策局長も参加します。このワークショップは、どなたでも傍聴することができます。憲章は、ワークショップを経て、6月中旬にパブリックコメントを行い、7月中に確定する予定です。

■ 鹿児島大学「生涯学習憲章」について

本憲章は、鹿児島大学が、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学として、従来の狭い「生涯学習」理解から、「学生教育」や「社会人教育」はもとより、大学人が地域とともに学び合い、教え合う、相互交流・発展への道筋も含めて、これからめざす鹿児島大学の「生涯学習」の指針となるものです。

■ ワークショップの内容

（1）開催目的

鹿児島大学の教職員、学生、地元自治体（与論町、大崎町など7市町）など100名以上が集い、以下の二つを目的に開催する

目的1：憲章素案（骨子）の検討を行う 目的2：具体的な活動実践につなげる提言を行う

（2）開催日時、場所

日時：6月1日（土） 13：00開会 ～ 17：00閉会

場所：鹿児島大学 共通教育棟2号館1階 全体会：211教室 分科会：212教室 213教室

（3）スケジュール

全体会 13：00-13：10 挨拶（前田学長、合田生涯学習政策局長）
 13：10-13：30 文科省の取組み・趣旨説明（文科省、生涯学習教育研究センター）
 休憩・移動（10分）
 分科会 13：40-14：30 講師の問題提起 + 事例報告3本
 14：30-16：30 各6班に分かれてワークショップ（討議）
 16：30-17：00 分科会まとめ
 全体発表会 17：30-19：30 全体発表会の後、懇親会（鹿児島大学生協・中央食堂にて）

（4）分科会のテーマ

分科会1：社会の要請と学生教育の充実（質向上）

卒業生、学生、教職員が6つの班に分かれて「実社会で学生を教育する難しさ」などについて議論します

分科会2：社会人教育機関としての大学展望

自治体、社会人、教職員が6つの班に分かれて「社会人学生のニーズに応える難しさ」などについて議論します。

分科会1	1班	2班	3班	4班	5班	6班
チーム	混合	教員	教員	職員	学生	卒業生
論点	学生と地域社会が つながらず各々のメリ ット、デメリット	学生を実社会で 教育させること の難しさ	学生にとって本 当に必要な力と はなにか	職員が学生ニ ーズを知り、応 えていくため に	実社会とかわ る教育機会を よりよくする ために	卒業生から大 学教育に求め ること

分科会2	1班	2班	3班	4班	5班	6班
チーム	混合	職員	教員	教員	社会人	自治体
論点	社会人教育の相 互作用が生む 楽しさと新し い気づき	職員自身の キャリア形成	社会人教育 プログラム (カリキュラム や体制)の 難しさ	社会人学生 のニーズに 応えること の難しさ	社会人学生 としての学 びをよりよ くするために	自治体ニ ーズに大 学がよりよ く応える ために

会場地図：鹿児島大学郡元キャンパス 共通教育棟2号館1階

